

# 生月まち協 だより

第49号

令和3年5月15日発行



生月地区まちづくり  
運営協議会

TEL/FAX 0950-29-9080



生月まち協事務所

うみかぜ  
**海風**

ぜひ、覚えてね!!

## 生月まち協事務所の愛称が決まりました!!

たくさんのご応募ありがとうございました。

約100通の中から役員会にて選考した結果『海風（うみかぜ）』に決定しました。  
地元の海から風のように情報等を発信してほしいという願いで応募されたものです。

住民の交流や賑わいの場所となり、皆さんに親しまれるような施設を  
目指して今後とも活動していきたいと思えます。

生月地区まちづくり運営協議会事務所『海風』をよろしくお願いいたします。



# 部会からのお知らせ

## あなただけが知っているの生月絶景ポイントを募集します！！



生月島にはたくさんの絶景ポイントがありますが、まだまだ知らない隠れた絶景ポイントや同じ場所でも見方を変えるとまた違う絶景ポイントがあるはず。そんなあなたしか知らない、そしてあなたこそが知っている生月の絶景ポイントを教えてください！詳しくはチラシまたは生月まち協ホームページで！

【問い合わせ】

生月地区まちづくり運営協議会 事務所

TEL/FAX 0950-29-9080



## コラム

### 麦秋や 子を負いながら いわし売 (一茶)

表紙でも紹介しているように、三月に公募しましたまち協事務所の愛称が「海風」と決まりました。生月島の風土にぴったりな良い名称だと思います。百通余りの応募がありました。応募して下さいました皆様に心からの感謝を申し上げたいと思います。応募して下さいました方々の思いを大事にしてこれからも精進しなければなと思っています。

ところで巻頭の俳句ですが、季語は何でどの季節をあらわしていると思いますか。ご存じの方もいらっしゃると思いますが「麦秋」で夏の季語になります。

「麦秋」は「麦の秋」とも表記されますが、麦が収穫されるのが五月頃なので稲が実る秋と対比して夏の季語とされているのです。

正直申しますと小生も季語として認識していましたが、実感がありませんでした。ところが、数年前に佐賀へ行く機会がありまさに「麦秋」を体験したのです。佐賀は米どころといわれるくらい平坦な土地一面に延々と田んぼが続いています。今頃の季節生月では、早植えが盛んなので田んぼには稲が植えられています。だから実感がなかったのです。しかし、佐賀だと田んぼ一面に麦が実っている光景が広がっていたのです。初めての見る景色に車を止めてしばらく見入ったくらいでした。

事程左様に小生らは知らないことがたくさんあります。齡還暦の小生ですが、もっと多くのことを体験できればと願っている今日この頃です。(学)